

令和4年度 中堅教諭等資質向上研修（公立幼稚園等）資料

- 中堅教諭等資質向上研修（公立幼稚園等）実施要領
- 中堅教諭等資質向上研修（公立幼稚園等）年間研修計画作成要領
- 中堅教諭等資質向上研修（公立幼稚園等）年間研修計画
- 別紙様式1～4

中堅教諭等資質向上研修（公立幼稚園等）実施要領

静岡県教育委員会

静岡県健康福祉部

1 目的

中堅教諭等資質向上研修（以下「中堅研修」）に係る研修に関し必要な事項を定めることを目的とする。

2 対象

中堅研修の対象となる教員（以下「中堅研修者」という。）は、原則として、公立の幼稚園・幼稚園型認定こども園及び幼保連携型認定こども園（以下、「公立幼稚園等」という。）の教諭、助教諭、保育教諭、助保育教諭及び講師（以下「教諭等」という。）のうち、国公立の幼稚園・幼稚園型認定こども園及び幼保連携型認定こども園の正規教諭として在職期間が7年を経過した者とする。（在職期間に、公立の保育所・保育所型認定こども園の正規勤務の経験を含むこともできる。）

3 研修内容

- (1) 教育・保育的素養、総合的人間力、教育・保育力（教育・保育を構成する力、乳幼児を理解し個に対応する力）、業務遂行力（教育・保育力以外の専門的な力）、組織運営力（組織目標を達成するために必要な力）等、職務遂行に必要な事項について実施するものとする。
- (2) 園外研修は、県総合教育センター等県教育委員会が主催の希望研修2日程度、市町教育委員会又は市町幼児教育主管課（以下、「市町教等」という。）主催の研修会3日程度とする。（内2日は、保育所や小学校等の異校種等の体験1日、民間企業・ボランティア等の社会体験1日を含む。）
- (3) 園内研修は、所属園において課業期間に10日間行う。

4 年間指導計画

- (1) 園長は、市町教委等が作成した中堅教諭等資質向上研修年間研修計画書（別紙様式1）及び中堅教諭等資質向上研修事前評価表（別紙様式2）に基づき、当該園における中堅研修者の園内研修及び園外研修について、中堅教諭等資質向上研修年間指導計画書（別紙様式3）を2部作成し、市町教委等をとおして県教育委員会義務教育課幼児教育センター（以下、「幼児教育センター」という。）に1部提出する。
- (2) 市町教委等は、園外研修について、中堅教諭等資質向上研修年間研修計画書（別紙様式1）を1部作成し、幼児教育センターに提出する。

5 年間指導報告

- (1) 中堅研修者及び園は、園内研修及び園外研修終了後に中堅教諭等資質向上研修年間研修報告書（別紙様式4）を2部作成し、市町教委等へ提出する。
- (2) 市町教委等は、所管する園から提出された中堅教諭等資質向上研修年間研修報告書を幼児教育センターに1部提出する。

6 委任

この要領に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

7 留意事項

- (1) 幼保連携型認定こども園に在籍する保育教諭についても、本実施要領に準じて実施することに留意する。
- (2) 中堅研修は法定研修である。中堅研修者の人選については、市町作成の教員育成指標に基づいて行い、受講後の研修履歴の管理についても市町で責任をもって行うことを留意する。

附 則

この要領は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。

中堅教諭等資質向上研修（公立幼稚園等）年間研修計画 作成要領

静岡県教育委員会
静岡県健康福祉部

はじめに

中堅教諭等資質向上研修（公立幼稚園等）年間研修計画作成要領は、市町教育委員会等において、中堅教諭等資質向上研修（公立幼稚園等）実施要領に基づき年間研修計画を作成する場合の参考に供するものである。

1 総則

- (1) 市町教育委員会等は、別紙「中堅教諭等資質向上研修（公立幼稚園等）年間研修計画」に基づき、中堅教諭等資質向上研修年間研修計画書を作成し、静岡県教育委員会義務教育課幼児教育センターに提出する。
- (2) 園長は、市町教育委員会等が作成した中堅教諭等資質向上研修年間研修計画書及び中堅教諭等資質向上研修事前評価表等に基づき、当該園における中堅研修者の園内研修及び園外研修について、中堅教諭等資質向上研修年間指導計画書を作成し、市町教委をとおして静岡県教育委員会義務教育課幼児教育センターに提出する。

2 園内及び園外における研修

(方法)

- (1) 中堅研修者は、原則として学級等を担当しながら、一年間、園内において園長を中心とする指導及び助言による研修を受けるとともに、園外において、県総合教育センター等における県教育委員会の計画による研修、市町教育委員会の計画による研修等を受けるものとする。

(日数)

- (2) 園内における園長を中心とする指導及び助言による研修日数は、年間を通じて10日が確保されなければならないものとする。
- (3) 園外における研修日数は、年間を通じて5日程度の研修日数が確保されなければならないものとする。

(内容)

- (4) 研修内容については、中堅研修者個々の能力、適正等に応じて精選・重点化を図るとともに、保育活動の展開・進捗、中堅研修者の指導力の状況等に応じて適時性・系統性を持たせるようにするものとする。
- (5) 園内における研修及び園外における研修は、教育・保育的素養、総合的人間力、教育・保育力（教育・保育を構成する力、乳幼児を理解し個に対応する力）、業務遂行力（教育・保育力以外の専門的な力）、組織運営力（組織目標を達成するために必要な力）等、教諭の職務遂行に必要な事項について、中堅研修者個々の能力、適正等に応じて実施するものとする。

(園内における研修)

- (6) 園内における研修は、園における具体的な教育活動の実際及び園の実情に即して行うものとする。

(園外における研修)

- (7) 園外における研修は、教育・保育的素養、総合的人間力、教育・保育力、業務遂行力、組織運営力を養う内容について、5日程度行うものとする。内2日は、県総合教育センター等県教育委員会が主催の希望研修とする。内3日は市町教育委員会等主催の研修会とする。（保育所や小学校等の異校種体験研修1日程度、民間企業・ボランティア等の社会体験研修1日程度を含む。）

3 その他

(分掌の軽減)

- (1) 園長は、園の教職員組織等の実情に応じて、適宜、中堅研修者の校務分掌を軽減するものとする。
(保護者への配慮)
- (2) 研修の計画及び実施に当たっては、保護者並びに地域社会の理解や協力が得られるように配慮するものとする。

中堅教諭等資質向上研修（公立幼稚園等）年間研修計画

静岡県教育委員会
静岡県健康福祉部

1 期間

令和4年4月1日から令和5年3月31日までの1年間

2 研修実施区分

区 分	概 要
園 内 研 修	・園長を中心とした園内指導体制の下での研修
園 外 研 修	・県総合教育センター等県教育委員会が主催の希望研修 ・市町教育委員会等の主催する研修

3 研修日数

区 分	研修日数	内 訳	
園 内 研 修	10 日	園長を中心とした園内指導体制の下での研修	
園 外 研 修	5 日 程度	県総合教育センター等 県教育委員会が主催の希望研修	2 日程度
		市町教育委員会等主催	3 日程度 (内2日は保育所や小学校等の 異校種体験1日、民間企業・社 会福祉施設等の社会体験1日 を含む。)
計	15 日程度		

4 園内研修年間研修計画

P 5

5 園内研修項目別指導上の留意事項

P 7

6 園外研修年間研修計画

P11

7 提出書類

P13

4 園内研修年間研修計画

資質・能力	園内研修における研修項目	必修		選択		指導体制
		日数	必修	日数	選択	
総合的人間力 教育的・保育的要素	【社会人、教員としての自覚と役割】 1 中堅教員としての職務と心構え 2 教育要領の理解と対応 3 課題研究 4 研修の意義と進め方 5 研修のまとめと新年度への準備 【豊かな人間性】 6 リフレッシュの重要性 7 視野の拡大	1	☆		○ ○ ○ ○ ○	管理職、主任 教諭等による 指導 管理職指導
教育・保育力	【教育環境の創造】 1 乳幼児理解と環境設定 2 道徳性の芽生えを培う教育 3 基本的な生活習慣の定着 4 人権教育の理解 【乳幼児の実態把握に基づく保育】 5 指導計画の必要性とその作成 6 保育案の意味とその作成 7 保育の公開と事後研修 【豊かな遊び・体験】 8 効果的な教材の活用と教材研究 9 読書指導 【個の特性を生かした集団づくり】 10 学級経営の意義と具体的な学級経営の在り方 11 学級経営案の作成 【家庭・地域社会の理解】 12 園、地域、幼児・保護者の実態 【評価・改善】 13 学級経営の反省と今後の展望 14 指導の評価と次年度への課題	1 2	☆ ☆		○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	管理職、主任 教諭等による 指導 管理職指導
	【乳幼児理解】 15 乳幼児の発達段階と心理の理解 16 乳幼児理解と教育相談 【集団の中で個を生かす保育】 17 個に応じた援助の工夫 18 乳幼児の記録 【特別支援教育】 19 特別な支援を必要とする乳幼児の理解と援助の在り方	1	☆		○ ○ ○ ○	管理職、主任 教諭等による 指導

業務遂行力	教育・保育力以外の専門的な力	【保育課題】 1 小学校教育との接続 2 教育時間終了後に行う教育活動への理解と対応 3 効率的な事務処理 【管理】 4 事故とその対応 5 問題行動への対応 6 災害への備え 【子育て支援】 7 子育てに関わる保護者への支援と指導 8 家庭や関係機関との連携	1	☆		○ ○ ○ ○ ○ ○	管理職、主任教諭等による指導
		【対話・協働】 1 園運営への参画 2 園経営の評価 3 園における分掌事務とその処理 4 PTAの組織と運営 【課題解決】 5 所属園の教育課題と教育課程 【コミュニケーション】 6 保護者との接し方と家庭訪問、懇談会 7 学年・学級だより（通信）の在り方 【人材育成】 8 園内の人材育成				○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	管理職、主任教諭等による指導
		合計	7日	6	3日	36	

<留意事項>

- ・ 必修、選択日数の説明

☆……園内研修での必修研修項目 7日：6項目 ○……園内研修での選択研修項目 3日：36項目の内から学校、研修者の実態に応じて選択する
--

5 園内研修項目別指導上の留意事項

	研 修 項 目	指 導 上 の 留 意 事 項					
教育的・保育的要素・総合的人間力	【社会人、教員としての自覚と役割】 1 中堅教員としての職務と心構え 2 教育要領の理解と対応 3 課題研究 4 研修の意義と進め方 5 研修のまとめと新年度への準備	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児に対する教育的愛情、地域、保護者、幼児の期待等を理解させ、教員としてのやりがいを感じ取らせる。 ・自らの立場や役割を自覚し、ミドルリーダーとして期待される役割を意識させ、園運営に参画するよう自覚を促す。 ・教育要領を通して、教育改革の目指している理念を理解させるとともに、その理念を具現するための教育課程の内容について理解させる。 ・自己評価、将来への展望、年間課題研究の課題等について、所属長と面談し、主体的に課題の追究が図られるようその方法や計画について指導助言する。 ・乳幼児の発達段階や心理、日々の保育における環境設定などに関する研修の意義と効果的な進め方について考えさせる。 ・研修の記録等を基に、保育実践について、研修者の1年間の実践を自己評価し、課題研究及び研修全体のまとめをさせる。 					
	【豊かな人間性】 6 リフレッシュの重要性 7 視野の拡大		<ul style="list-style-type: none"> ・自己の働き方を振り返り、ワークライフバランスに留意し、心身の健康に努めるための方法を考えさせる。 ・自らへの投資を意識付け、ボランティア活動や地域活動への参加、芸術や美術に触れる経験など感性を磨くことについて考えさせる。 				
	【教育環境の創造】 1 乳幼児理解と環境設定 2 道徳性の芽生えを培う教育 3 基本的な生活習慣の定着 4 人権教育の理解			<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児の思いが活かされ、活動がさらに発展するような環境を設定するための手立てを考えさせる。 ・乳幼児がまわりの人々との関わりの中で、道徳性を持つようになるための手立てを考えさせる。 ・乳幼児の活動の中で、挨拶や言葉、基本的なマナーなど基本的な生活習慣を身に付けさせる手だてを考えさせる。 ・人間尊重の精神を具現化するための、学級経営や保育活動での指導の在り方を理解させる。 			
	【乳幼児の実態把握に基づく保育】 5 指導計画の必要性とその作成 6 保育案の意味とその作成 7 保育の公開と事後研修				<ul style="list-style-type: none"> ・教育要領のねらい及び内容と自園の教育課程から、年間の保育計画の必要性を理解させるとともに実際に作成させる。 ・自園の保育案の様式により、ねらい、乳幼児の実態及び環境構成を踏まえた保育案を作成させる。 ・研修者が管理職及び他の教諭の指導を受けて作成した保育案に基づき保育の公開をする。 ・できるだけ多くの教員が参観し、反省会を開き指導助言する。 		
	【豊かな遊び・体験】 8 効果的な教材の活用と教材研究 9 読書指導					<ul style="list-style-type: none"> ・様々な教材を効果的に活用して、より充実した保育が展開できるよう教材研究を深めさせる。 ・発達の段階に応じた、適切な絵本との出会い及び絵本に親しむ手立てについて、考えさせる。 	
	【個の特性を生かした集団づくり】 10 学級経営の意義と具体的な学級経営の在り方						<ul style="list-style-type: none"> ・園での生活における学級の持つ意味とそれに基づく学級経営の重要性について指導する。

<p>11 学級経営案の作成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園経営、学年経営と関連付けるとともに学級の特色も出せるようにする。 ・学級目標、学級経営方針の実現の場と方法を学級の実態に即して具体的に示させる。 ・乳幼児一人一人が所属感を持ち、存在感を感じることができる学級経営をさせる。
<p>【家庭・地域社会の理解】</p> <p>12 園、地域、幼児・保護者の実態</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域、園、幼児・保護者の実態を理解させる。 ・園内の施設、設備、教材、教具等の確認をさせ、それらの活用と管理を図ろうとする態度を育てる。
<p>【評価・改善】</p> <p>13 学級経営の反省と今後の展望</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1、2学期の学級経営の実践を評価させ、その成果と反省に基づいて2、3学期の学級経営計画を立案させるとともに、必要に応じて学級経営案を加除・修正させる。
<p>14 指導の評価と次年度への課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学級経営案を基に、研修者の1年間の実践を評価させる。 *評価に当たっては、研修者の学級及び乳幼児の変容に視点を当てさせたい。 *成果を認め、次年度への意欲付けを図る。
<p>【乳幼児理解】</p> <p>15 乳幼児の発達段階と心理の理解</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児の発達段階や心理を知ることの意義を理解し、日々の援助に生かす。
<p>16 乳幼児理解と教育相談</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児理解の方法を理解させるとともに、学級担任による教育相談の在り方や他の教員との連携の在り方について指導する。
<p>【集団の中で個を生かす保育】</p> <p>17 個に応じた援助の工夫</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・個に応じた援助の必要性を理解させるとともに、個に応じた援助を有効に進めるための手立てを考えさせる。
<p>18 乳幼児の記録</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児一人一人の思いを大切にするために、適切な記録を取る必要性を理解し、乳幼児のよさや可能性を伸ばすことを基本とすることなどの考え方を指導する。
<p>【特別支援教育】</p> <p>19 特別な支援を必要とする乳幼児の理解と援助の在り方</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・特別な支援を必要とする乳幼児の理解や支援の在り方について事例を通して考えさせる。 ・合理的な配慮についての理解と対応について、具体的な場面に即して考えさせる。 ・どの子どもも学びやすい生活しやすいユニバーサルデザインの考え方を理解し、それを生かして環境を整えるよう指導する。

業務遂行力	【保育課題】	
	1 小学校教育との接続	・幼児教育と小学校教育の円滑な接続を図るための効果的な連携の手立てについて考えさせる。
	2 教育時間終了後に行う教育活動への理解と対応	・教育課程に基づく活動との関連を図るとともに、乳幼児の健康と安全に配慮し、保育内容や環境の工夫について考えさせる。
	3 効率的な事務処理	・効率的な事務の必要性を理解させ、計画的に処理しようとする態度を身に付けさせる。その処理に当たっては、他の教育等との連携を踏まえて的確に処理することの必要性を指導する。
	【管理】	
	4 事故とその対応	・自園の実例や典型的な学校事故の判例等を基に事故となる要因を理解させ、その防止の方策を考えさせる。 ・事故が発生した場合の緊急の処置、報告等指導する。 ・園生活や登園中の乳幼児の安全、不審者対策等について指導する。
	5 問題行動への対応	・問題行動の典型的事例を基に、その背景と乳幼児及び家庭へのアプローチの仕方を指導する。 ・発達段階に応じた生活態度を育てるための指導の在り方や個に応じた学習課題の出し方及び家庭訪問による具体的な指導の在り方を指導する。
	6 災害への備え	・施設設備の安全確保のための方策や災害発生時の対応の具体的内容及び手順、教員の役割分担について理解を深め、必要な対応ができるよう指導する。
【子育て支援】		
7 子育てに関わる保護者への支援と指導	・子育てに関する相談を受けたり、保護者のネットワークを作ったりする等の子育て支援センター的な役割について理解し、効果的な手立てを考えさせる。 ・支援が必要な家庭のアセスメントを行い、保護者の子育ての不安感や負担感を理解し、対応を考えさせる。	
8 家庭や関係機関との連携	・保育の評価も含めながら、家庭や関係機関との連携の仕方について考えさせる。	

組織運営力	【対話・協働】	
	1 園運営への参画	・園全体の教育活動を見通し、保育計画や研修計画の立案に役立てるなど、園運営への参画意識を高める。
	2 園経営の評価	・教育課程の評価の必要性とその手順及び方法について理解させる。
	3 園における分掌事務とその処理	・分掌は、教育目標達成のための組織上の仕組みであることを理解させ、組織の一員として協働していくことの必要性和重要性を自覚させる。 ・園内の服務規律及び諸規定について理解させる。
	4 P T Aの組織と運営	・P T Aの組織がどのようになっているか。また、その運営の仕方、教員の関わり方等について指導する。
	【課題解決】	
	5 所属園の教育課題と教育課程	・自園の教育課題を踏まえた教育課程の特色、編成の手順等について指導する。 ・園の教育目標と重点目標の関連及び教育目標と経営目標・方針の違いを理解させる。
	【コミュニケーション】	
6 保護者との接し方と家庭訪問、懇談会	・子育て支援の考え方を踏まえた保護者との接し方について考えさせる。 ・必要に応じて家庭訪問等をするものの意義について理解し、保護者や地域との連携について考えさせる。 ・公務員としての守秘義務など留意しなければならないことについて指導する。 ・魅力ある懇談会となるよう方策を考えさせる。	
7 学年・学級だより（通信）の在り方	・学年・学級だより（通信）は、園通信とともに学校と家庭との相互理解を深める重要な手段であることを理解させる。 ・担任からの一方的な指示・伝達とならないよう、内容、発行計画、発行の仕方及び活用等について創意工夫するよう指導する。	
【人材育成】		
8 園内の人材育成	・メンターの役割について理解させ、相手の立場に立って指導助言し、園内の人材育成の推進役を担わせる。	

<留意事項>

- ・ 園内研修計画は、年間を通じて研修が実施できるよう作成する。
- ・ 選択研修項目は、園の実情や研修者個々の能力、適正等に応じて決定する。

6 園外研修年間研修計画

(1) 研修項目

研 修 項 目 (資 質 ・ 能 力)	必修・ 選択別	県教委	市町 教委等
「インクルーシブ保育研修」 (教育・保育力) 「幼児理解研修～エピソード記録と保育～」 (教育・保育力) 「乳幼児保育研修」 (教育・保育力) 「幼小接続期の教育・保育研修」 (教育・保育力)	○	幼児教育センター 主 催	2日 程度
「教育相談の基本姿勢」 (教育・保育力、業務遂行力) 「マネジメント講座7、8」 (業務遂行力、組織運営力) 「障害のある子どもへの保護者支援」 (教育・保育力、業務遂行力) その他		県総合教育センター 主 催	
・人間関係づくりと学級経営の基本等 (教育・保育力) ・確かな幼児理解や環境設定等 (教育・保育力) ・基本的な生活習慣の定着やそのための適切な指導等 (教育・保育力) ・小学校教育との接続 (教育・保育力) その他	○		1日 程度
・保育所や小学校等の異校種の体験研修 (1日) (総合的人間力・組織運営力) ・民間企業・社会福祉施設等の社会体験研修 (1日) (総合的人間力・組織運営力)	☆		2日
合 計 日 数			5日程度

(必修・選択別の記号について：☆は必修、○は選択)

<留意事項>

- ・県総合教育センター等県教育委員会が主催する希望研修を選択しない場合には、各市町教委等主催で同様な内容の研修を設定する。
- ・詳しくは、県総合教育センター発行の「令和4年度研修ガイドブック」や県幼児教育センター発行の「令和4年度静岡県幼児教育センター研修案内」を参照する。

(2) 異校種等体験研修

ア 目的

中堅教諭等資質向上研修における異校種等体験研修は、保育所や小学校等の保育・教育活動を体験的に研修することにより、研修者の総合的人間力、組織運営力向上を図るとともに、異校種間の相互理解を深め、指導の一貫性・継続性を高めることを目的とする。

イ 実施方法

市町教育委員会又は市町幼児教育主管課（以下、「市町教委等」という。）の計画に基づき実施することとし、研修者所属園の園長（以下、「園長」という。）は、必要に応じて研修先の所属長等との事前打合せを行う。

ウ 実施期間

4月から翌年1月までの間の1日間とする。

エ 研修内容等

- (ア) 研修先となる保育所や小学校等の特色ある保育・教育活動を生かして計画する。
- (イ) 研修中のサービスは出張とする。

(3) 社会体験研修

ア 目的

中堅教諭等資質向上研修における社会体験研修は、民間企業・社会福祉施設等における体験を通して研修者の視野を広げるとともに、ボランティア活動等の重要性を認識し、総合的人間力、組織運営力向上を目的とする。

イ 実施方法

市町教委等の計画により実施することとし、市町教委等及び園長は、研修先との事前打合せを行う。原則、本研修を行うものとするが、企業勤務経験のある者等は、異校種体験研修に振り替えて実施することができる。

ウ 実施期間等

4月から翌年1月までの間の1日とするが、長期休業中（夏季休業、冬季休業）に実施することが望ましい。

エ 研修内容等

- (ア) 研修先となる民間企業、社会福祉施設等の事業内容に合わせて計画する。ただし、課業期間中については、週休日の研修は実施しないものとし、長期休業期間中に限り週休日の研修を認める。
- (イ) 研修先での勤務時間帯は、研修者の負担とならないよう、園勤務における時間帯に近いことが望ましい。（夜間勤務等については、できる限り避ける。）
- (ウ) 研修中のサービスは出張とし、研修先の勤務時間に従う。

7 提出書類

書 類 名	様 式	提出期日	提出先	作 成 者
中堅教諭等資質向上研修 年間研修計画書	別紙様式1	令和4年 5月13日(金)	県教育委員会義務教育課 幼児教育センター	市町教育委員会等
中堅教諭等資質向上研修 事前評価表	別紙様式2	(ア) 令和4年 5月20日(金)	(ア) 市町教育委員会等 (2部) ↓	園 長 対象教員
中堅教諭等資質向上研修 年間指導計画書	別紙様式3	(イ) 令和4年 5月27日(金)	(イ) 県教育委員会義務教育課 幼児教育センター (1部)	園 長
中堅教諭等資質向上研修 年間研修報告書	別紙様式4	(ア) 令和5年 2月10日(金) (イ) 令和5年 2月17日(金)	同上	同上

※ 注意事項

- ・別紙様式1について、市町教育委員会等は義務教育課幼児教育センターへ1部提出するとともに該当園へ送付する。
- ・別紙様式2、3、4について、園長は市町教育委員会等へ(ア)の期日までに2部提出する。市町教育委員会等は記載内容を確認、押印の上、義務教育課幼児教育センターへ1部提出する。

※ 提出方法

- ・別紙様式1については、電子メールに添付で提出する。
メールアドレス kyoui_gimu@pref.shizuoka.lg.jp

(エル)

電子メールの件名は「【〇〇市・町】中堅研(幼稚園等)別紙様式1」とする。

- ・別紙様式2、3、4は、郵送等により提出する。
〒420-8601 静岡市葵区追手町9-6 静岡県教育委員会義務教育課幼児教育センター 宛
朱書で「〇〇〇〇在中」と明記する。

中堅教諭等資質向上研修 年間研修計画書

市町名 () 主管課名 ()

学期	実施予定 期 日	市町教育委員会等が主催する園外研修の研修内容	研修会場等
1			
2			
3			

<留意事項>

計画書の記入事項は、市町教育委員会等が計画し実施する「研修会（年間3日程度）」について記入する。

中堅教諭等資質向上研修 事前評価表

所属園名		職・研修者氏名		
		(印)		
A 優れている B 一般的な程度を満たしている C やや劣る D 劣る (中堅研修者としての一般的な基準)				
資質・能力		育成指標		自己評価
教育・保育的素養		キャリアステージにふさわしい教育・保育に対する誇り、愛情、使命感、倫理観の維持・向上を図っている。		
総合的人間力		教員として、真摯に学び続ける姿勢を持ち、地域社会との関わりの中で豊かな人間性の向上を図っている。また、人づくりを担う一人として、常に乳幼児の模範となるよう行動している。		
教育・保育力	教育・保育を構成する力	乳幼児の実態把握や実態に即した目標設定、教材研究、遊びの構想、評価などを行っている。		
		乳幼児の自発的な活動としての遊びや、幼小中高との学びの連続性・一貫性を持った教育・保育を計画・実践・評価・改善している。また、地域の人的・物的資源に繋げ、教育・保育を構想、展開している。		
	乳幼児を理解し個に対応する力	乳幼児一人一人に寄り添い、発達段階に即して好ましい人間関係をつくれるよう支援している。		
		特別支援教育の対象となる乳幼児一人一人に応じた教育・保育計画を作成するとともに、合理的配慮を踏まえた適切な教育・保育を行っている。		
業務遂行力	教育・保育力以外の専門的な力	将来を見据えた様々な課題に対応するために必要な知識・技能を習得し、実践している。		
		安全に配慮した環境等の整備をするとともに、危険を察知した際の報告・連絡・相談、事故等への対応、再発防止の実施等が、迅速にできている。		
		保護者等との信頼関係を基盤にした連携や協働を行うとともに、個に応じた支援に取り組んでいる。		
組織運営力	組織目標を達成するために必要な力	組織の一員として、園経営計画の実現を意識し、自らの役割に課せられた責任を果たすとともに、組織運営について先輩教員から学ぶことができている。		
研修員に期待すること (園長記入)				

園長

(印)

幼児教育主管課長

(印)

中堅教諭等資質向上研修 年間指導計画書

園名		学級数		園長氏名	印
研修者氏名(性別)	年齢	職名	学級担任の有無	園内の分掌・係	
			有 無		
学期	実施日数	園内研修内容		実施期日	園外研修内容・主催者
1					
2					
3					

指導上の留意点

中堅教諭等資質向上研修 年間研修報告書

所属園名	職・研修者氏名
	㊟

学期	実施日数	園内研修内容	実施期日	園外研修内容・主催者
1				
2				
3				

社会体験研修			
研修月日	年 月 日 ()	研 修 先	
研修内容・感想			

保育所や小学校等の異校種体験研修			
研修月日	年 月 日 ()	研 修 先	
研修内容・感想			

【全体総括】

園長氏名



幼児教育主管課長

